

城里町教育産業常任委員会会議録

日時 令和7年9月9日（火）

定例会初日終了後

場所 城里町役場 3階 委員会室

出席委員（7名）

委員長	桜井和子君	副委員長	綿引静男君
	小畑孝君		阿久津則男君
	藤咲芙美子君		加藤木直君
	高橋裕子君		

欠席委員（なし）

地方自治法第105条の規定により出席した者（1名）

議長 三村孝信君

職務のため出席した者の職氏名

議会事務局長	興野友宣
主任書記	藤田真紀
書記	鷲翔瑛

教育産業常任委員会次第

- 1 開 会
- 2 委員長挨拶
- 3 議長挨拶
- 4 協議事項
 - (1) 陳情第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情
 - (2) その他
- 5 閉 会

午前 10 時 32 分開会

開 会

- 議会事務局長（興野友宣君） それでは皆さん、大変お疲れさまでございます。
ただいまから教育産業常任委員会を開催させていただきます。
-

委員長挨拶

- 議会事務局長（興野友宣君） 最初に、桜井委員長よりご挨拶をいただきたいと存じます。
- 委員長（桜井和子君） 委員の皆様におかれましては、定例会初日終了後、お忙しい中ご出席をいただき、大変にありがとうございます。
- 本日の会議は、陳情 1 件等につきまして審議をお願いするものです。
慎重なる審議と委員会運営には特段のご協力をお願いし、挨拶といたします。
- なお、本日、三村議長が出席されておりますので、ご挨拶をいただきたいと思います。
お願いいたします。
-

議長挨拶

- 議長（三村孝信君） 議会終了後の皆さんお忙しい中、委員会のほうへご参集いただきまして、誠にありがとうございます。
- 陳情 1 件が出ておりますので、どうぞ慎重なご審議をよろしくお願いいたします。
- 議会事務局長（興野友宣君） ありがとうございます。
-

協議事項

- 議会事務局長（興野友宣君） それでは、ここからは桜井委員長の議事進行で会議運営をお願いしたいと存じます。よろしくお願いいたします。
- 委員長（桜井和子君） それでは、会議に入ります。
- （1）陳情第 1 号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情を議題といたします。
- 事務局より説明をお願いいたします。
- 事務局長。

○議会事務局長（興野友宣君） すみません、では、座って説明させていただきます。

陳情第1号 教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める陳情でございます。陳情代表者は茨城県教職員組合執行委員長、井坂功一様でございます。

内容を簡単にご説明いたします。

陳情事項というのが3項目ございまして、1つ目が、学校の働き方改革・長時間労働是正の実現のため、加配教員の増員や少数職種の配置増など、教職員定数改善を推進すること。2つ目が、教育機会均等と水準の維持向上を図るため、地方財源を確保した上で、義務教育費の国庫負担制度を堅持すること。3つ目が、自治体の実効性のある働き方改革を実行するために、必要な予算を講じることとなっております。以上の事項について、政府への意見書の提出を求めるというような内容の陳情でございます。

以上、簡単ではございますが内容のご説明をいたしました。

ご審議のほど、よろしく願いいたします。

○委員長（桜井和子君） ありがとうございます。

それでは、説明が終わりましたので、ご意見等ございましたら伺いいたしますが、いかがでしょうか。

藤咲委員。

○委員（藤咲芙美子君） この教育についての陳情は毎回出されていますけれども、今やっぱり貧困とかいじめ、不登校などあって、また教職員の長時間労働、こういうことについてはやっぱりまだまだ教職員の定数が不足していると思われまして。定数改善についてはもっと必要なかなというようなことを思っていますので、これには私は賛成の立場で行きたいと思っています。

特に今、国庫負担が2分の1から3分の1に減額されているという、引き下げられているということで、このことについてもやっぱり国庫負担が軽減されていることに対して、義務教育とかそういうものについても、きちんともう少し住民に、子供たちにも教職員にも伝わるようなものにしていただければいいかなと思っています。

ということですので、私はこの陳情には賛成したいと思っています。

以上です。

○委員長（桜井和子君） ありがとうございます。

賛成ということですが、ほかにございますか。

小坪委員。

○委員（小坪 孝君） これ毎年出ているんだけど、国で改善されていないの、実際に。されていないから出るんだろうけれども。何か良い手がないのかね。こんな毎年出ているのに。一生懸命頑張っている人なのに、報われないよな。

○委員長（桜井和子君） 藤咲委員。

○委員（藤咲芙美子君） 今、小坪さんの意見に対して、私もそうなんです。毎年出ているんですよね。ですので、やっぱり国で改善するためには、私たちこの小さな議会から、毎回こういう陳情が出ていて、毎回しっかりと定数改善するようにということで、採択されているということが分かれば、少し改善してもらえような、そういう方向に行けるんじゃないかなと。やっぱり私たちは、毎年出ているからいいんじゃないのかなというふうなそういう考えじゃなくて、やっぱり毎年出ている分だけの要求というのがあると思いますので、私たちの小さな議会からでも出していくということは必要なことだと思います。

○委員長（桜井和子君） ありがとうございます。

そのとおりですよ。出し続けて。

○委員（藤咲芙美子君） 出し続けるんです。お互いに。

○委員長（桜井和子君） ほかにございますか。

加藤木委員。

○委員（加藤木 直君） ただいま皆さん申しましたように、粘り強くやるしかないのかなと思、採択でよろしいと思います。

○委員長（桜井和子君） ありがとうございます。

ほかにないですか。

〔発言する者あり〕

○委員長（桜井和子君） そうですね。

じゃ、ほかに何かございましたら。

今、意見が出ましたので、それではここで採決をしたいと思います。

採択の方、挙手をお願いします。

〔賛成者挙手〕

○委員長（桜井和子君） 全員。

ありがとうございました。

全員採択に賛成ということで、陳情第1号については採択することで決定しましたので、よろしく願いいたします。

次に、意見書の原案についてご審議いただきたいと思います。

ただいま事務局より、陳情者が作成してきました原文をタブレットに表示いたしますので、少々お待ちください。

○議会事務局長（興野友宣君） 操作しています。少々お待ちください。

○委員長（桜井和子君） それでは、何か修正とかという意見ありますでしょうか。ありませんか。

〔「この中身の」と呼ぶ者あり〕

○委員長（桜井和子君） そうです。中身ですよ。

○議会事務局長（興野友宣君） 中身ですね、これの。

〔「委員長」と呼ぶ者あり〕

○委員長（桜井和子君） 阿久津委員。

○委員（阿久津則男君） これ最後、3つだよな。

○委員長（桜井和子君） 3。

○議会事務局長（興野友宣君） はい。

○委員（阿久津則男君） この中には、2分の1から3分の1になっちゃったけれども、さっき藤咲委員が言ったように、元に戻すような文言は入っていないのかな、その要望は入れなくていいの。

○議会事務局長（興野友宣君） そのとおりの意見ですけれども、向こうが持ってきた意見書はこれなので、一応入っていないんですね、要望に。

○委員（阿久津則男君） 最初の文言には、2分の1が3分の1になっちゃったから復元するよという文言が入っていたようだった。

○議会事務局長（興野友宣君） こっちには入っているんですけども、こっちの陳情事項には入ってこない。

○委員（阿久津則男君） 陳情事項に小さく書いて……。

○委員（加藤木 直君） 結局、序文に入っているから、こういった必要な予算措置を講じることと入っているから、その3分の1なのを2分の1にするというのは、この予算措置をという部分であれしているんじゃないかな、序文に入っているから。そうかなと。

○議会事務局長（興野友宣君） ここに2分の1復元と書いてあるんです。陳情事項の3番では、必要な予算措置を講ずることになっているので、そこに入っちゃっているのかもしれない。

○委員長（桜井和子君） この3番の。

○委員（阿久津則男君） そういう解釈ならそれはそれで構わないんだけども。

○委員長（桜井和子君） こっちは細かく出ているので。

○議会事務局長（興野友宣君） そう、上には細かく。

○委員長（桜井和子君） 具体的に出してあって、陳情のほうには実効性のある……。

○委員（阿久津則男君） ただ、これはもう20年近いんだね、2006年だものね。今年やっていないと、もう完全に20年なんだよね。

ただ、その間という言い方おかしいけれども、タブレットの無償化とか、給食費を今度無償化にするとか、そういう別な面でお金出しているのも間違いはないのは間違いはないんだけどもね。

いいですよ、そこに含まれていると解釈するなら。

○委員長（桜井和子君） それでいいですか。

○委員（阿久津則男君） はい。

○委員長（桜井和子君） それでは、陳情者が作成してきました原文を尊重し、関係機関へ提出したいと思いますが、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（桜井和子君） ありがとうございます。

それでは、陳情者が作成してきました原文を提出したいと思いますので、よろしく願いいたします。

次に、（２）でその他について、委員の皆様から何かありましたらお願いいたします。

〔「特にありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（桜井和子君） それでは、ないようですので、最後に教育産業常任委員会の閉会中の所掌事務調査についてですが、最終日の日程に入れたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（桜井和子君） ありがとうございます。

それでは、最終日の日程に入れたいと思います。

閉 会

○委員長（桜井和子君） 以上をもちまして、当委員会に付議されました案件について、協議が終了いたしました。

ここで、閉会に当たりまして、綿引副委員長よりご挨拶をいただきます。

○副委員長（綿引静男君） 陳情につきまして、慎重に審議、意見交換していただきまして、本当にありがとうございました。

以上をもちまして、当委員会を終了したいと思います。お疲れさまでした。

午前10時45分閉会